

「徳地和紙」に代表される“和”産業による伝統文化の継承事業

～地域の伝統文化を後世に伝えるものづくりと交流による職人の育成～

概要

800年以上の歴史を誇る伝統工芸「徳地手漉き和紙」が後継者不足等により伝統文化の継承が困難になっている。こうした課題に着目し、伝統文化を広く伝え、原料生産から和紙商品販売までの事業化(6次産業化)につながる仕組みづくりや新たな担い手の受け皿づくりを行うことで、徳地和紙を地域資源・観光資源として持続可能な徳地和紙産業を構築する。

山口県山口市



事業の内容

事業の内容

- ①プロジェクトチームの立ち上げ
- ②地域住民や市民等への啓発
- ③和紙原料の栽培・販売等の研究
- ④和素材の商品化研究及び和産業の育成
- ⑤「徳地和紙」(TOKUJIWASHI)ブランドの育成
- ⑥「徳地の和」モデルルームづくり
- ⑦後継者人材の発掘・職人育成の仕組みづくり

総事業費

10.0百万円

ポイント

- 地域団体、大学、NP法人の連携による商品開発、ブランド化
- 徳地和紙ブランドの確立と進展
- 地域団体、伝統工芸者、受入地域で連携した新たな担い手の受け皿づくり

事業の成果

- ・地域での伝統文化継承に向けた機運醸成
- ・後継者への技術継承の受け皿構築(後継者候補として地域おこし協力隊予定)
- ・和紙原料の生産地拡大と生産者創出
- ・徳地和紙の商品開発の販路開拓や、ブランド化の進展(事業化の下地づくり)



徳地和紙
TOKUJI WASHI